

令和4年度 事業報告

令和5年3月31日
おおぞらこども園

こども園の運営

(1) 所在地 貝塚市二色2丁目11-1

(2) 職員配置 (令和4年4月1日現在)

内訳

・園長	1名	
・事務長	1名	
・副園長	1名	
・主幹保育教諭	2名	
・副主幹保育教諭	1名	
・保育教諭	25名	(主幹保育教諭・副主幹保育教諭含む)
・保育補助	1名	
・管理栄養士	1名	
・調理員	5名	(淀川食品株式会社所属)
・安全指導員	2名	(シルバー人材派遣センター所属)

(3) 園児

・定員(2・3号認定)	90名	(実数 105名)
・定員(1号認定・新2号認定)	15名	(実数 7名)

教育・保育目標

教育基本法及び就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき「心身ともに健全で豊かな人間関係をもつ子どもの育成」を目指す。

全ての乳幼児に、“等しく”“心身ともに健全な生活と発達”“福祉と教育”を保障すべく愛ある教育と保育の振興と推進を目的とする。

- * 人権を守り一人ひとりを受容する。
- * くつろげる環境の中で体験的遊びを通して総合的な教育・保育を行う。
- * 一人ひとりの発達を理解し、主体活動を重視しながら生活のリズムを大切にする。
- * 国際的視野を持ち家庭的な教育・保育を行う。
- * 安全環境づくりに取り組み地域に根ざすこども園運営を目指す。
- * 教育・保育アセスメントを基にした教育・保育実践の中で、思いやりの心を育み健全

な心と体づくりに取り組む。

*子ども一人ひとりの可能性を伸ばし、のびのびと遊び自ら考え行動する力を培う。

教育・保育時間

○保育料

3～5歳児クラスは無償化の対象

副食費（月額）：4,500円（2号認定） 3,000円（1号認定）

0～2歳児クラスの保育料は貝塚市が保護者宛にて決定通知書

0～2歳児クラスの副食費は保育料に含む

<1号認定><新2号認定>

午後3時31分以降の保育は延長保育となり別途料金が必要

延長保育料徴収金額一覧表（1名1回利用にかかる費用）

午後3時31分～午後4時00分	200円
午後4時01分～午後4時30分	200円
午後4時31分～午後5時00分	200円

*2歳児クラスで3歳の誕生日を迎えた子どもは1号認定・新2号認定に変更する事が可能

*新2号認定を受ける事で月額450円延長保育料の補助あり

<2・3号認定>

保育標準時間：午後6時01分以降の保育は延長保育で別途料金が必要

延長保育料徴収金額一覧表（1名1回利用にかかる費用）

時間	一般世帯	住民税非課税世帯	生活保護世帯
午後6時01分～午後6時30分	150円	100円	50円
午後6時31分～午後7時00分	150円	100円	50円

*保育短時間：午後5時01分以降の保育は延長保育となり30分毎に150円徴収

*延長保育料の支払い

：月末集計とし翌月初めに請求書で通知

*非課税世帯・生活保護世帯で減免利用は各証明書の提出が必要

（未提出は一般世帯料金での徴収）

*タッチパネルを入力で延長保育料を計算

○保育時間

開園時間：月曜日～土曜日 午前7時00分～午後7時00分

休園日：日曜日・国民の祝祭日・創立記念日・年末年始

感染症発生により園長及び学校医が必要と認めた時・災害発生時

閉園時間 : 午後 7 時 0 0 分

< 1 号認定 > < 新 2 号認定 >

基本時間 : 月曜日～金曜日 : 午前 9 時～午後 3 時 3 0 分
* 新 2 号認定は午後 5 時まで

基本時間 : 月曜日～金曜日 : 午前 9 時～午後 5 時 0 0 分

土曜日 : 利用不可

休園日 お盆期間 : 8 月 7 日(土)～8 月 1 6 日(月)
年末年始 : 1 2 月 2 5 日(土)～1 月 7 日(金)
春休み : 3 月 1 9 日(土)～3 月 3 1 日(木)

< 2 ・ 3 号認 >

保育短時間 : 午前 9 時 0 0 分～午後 5 時 0 0 分 (※午後 5 時 0 1 分以降別途有料)

保育標準時間 : 午前 7 時 0 0 分～午後 6 時 0 0 分

延長保育時間 : 午後 6 時 0 1 分～午後 7 時 0 0 分 (※別途有料)

教育・保育内容

○カリキュラム・デイリープログラム等は園長・副園長・主幹保育教諭・保育教諭が子どもの発達に応じた内容を協議し努めた。

クラスごとに年間を通しての研究課題を決め研究を進め、その経過は、毎月のクラスだよりと年度末に進級だよりに掲載して教育・保育の理解を図った。

(ホームページに研究発表を令和 4 年度 5 月に公開した。)

○教育・保育主体的遊び

ピラミッドメソッド保育を中心に展開する。(5 歳児クラスはサークルタイムの充実) ままごと・知育・ブロック等のコーナーの充実を図った。

(地域住民の方々から 3 歳児クラスに手作りのドールハウスと 3 ・ 4 ・ 5 歳児クラスに沢山のミニチュアの玩具を作製)

* 作製物はホームページで公開した。

○0 ・ 1 歳児クラス

担当制の充実を図った。

1 歳児クラスから、げんき工房 (運動遊び) に取り組み体力強化に努めた。

○2 歳児クラス

知育コーナー・ままごとコーナーの充実を図った。

知育玩具 (シュタイナー教育) ままごとコーナー (新しいキッチン) の様子はホームページで公開した。

園庭でのランニングを体操後に行い体力の強化に努めた。

○3歳児クラス

第五中学校の校庭でランニングを行い体力の強化を図った。

(3・4・5歳児クラスが校庭対象)

トンボ池に郊外保育に出かけた。

○4歳児クラス

英語遊び・体育指導・S I あそび <ギルフォード教材>・硬筆<当園独自のプリント使用>の充実を図った。(英語遊びの参観を実施)(硬筆の様子はホームページで動画発信した)

○5歳児クラス

フェアリーキッズ(自然散策野外活動)・英語遊び・体育指導(剣道導入) S I あそび <ギルフォード教材>・習字(硬筆・毛筆)・おおぞらステップ(知育遊び<そろばん>)の充実を図った。

(英語遊び・おおぞらステップ・硬筆の参観を実施)

*硬筆最終目標は絵本を熟読し感想文を作成した後発表した。

*プレゼンテーションを、年2回プロジェクターを使用して行った。

*玄関前の花壇に野菜を植えて菜園活動を行った。

*紀泉わいわい村で田舎体験を行った。(デイキャンプも含む)

*大阪市立科学館・きしわだ自然資料館に利用した。

*第五中学校の畑で全面使用により、モロヘイヤ・綿の花等、2階テラスで稲植えを行った。

*こども新聞を9月から契約を行った。

○アトリエ工房

3・4・5歳児クラスが合同で製作活動を行った。(七夕・クリスマス・鬼の面等)

○0歳児～5歳児クラスまで散歩等戸外活動を通して自然と触れ合う活動を充実させた。

年4回バスを利用して郊外保育を実施する。

(バス代を保護者より徴収<明細等は公開した>)

○食育活動を家庭・地域にアピール

浜手地区公民館のお知らせボードで給食だよりを掲示して食育の発信に努めた。

当園ホームページで給食メニューの写真を更新した。

おおぞら給食レシピ本の配布<浜手地区公民館・のんびりルームに設置>

給食だよりの簡単レシピをホームページのおおぞらレシピで公開した。

食育の保育を毎月19日前後に実施し、食育活動を保護者に伝達した。

食育の指導計画を再度見直し充実を図った。

(手づくりの教材<園の給食の写真等>追加)

*給食だよりに給食メニューの一部の写真を掲載する事で解りやすくし、月平均栄養に加え、毎日のエネルギー量を掲載した。

*アレルギー対応に努めた。

アレルギー児も他児と同じように食べられる「なかよし給食」の充実、またはそれに付随する業務を行った。

＊ホームベーカリーを使用しておやつの工夫をした。

（５歳児クラスが各月に子どものリクエストした食材使用）

＊鉄分を含んだおやつの工夫を行った。

＊新しいメニューのレシピを職員が研究する。オーガニックのせんべい等

○外部講師依頼

手話・絵画・楽器指導（日本総合音楽研究）

○国際交流

○あひるの子劇団の公演

年４回公演をホームページで動画発信した。

○絵本の充実

のんびりルームに新刊 冊追加（新刊絵本をホームページにて紹介）

購入した絵本リストを冊子作成

移動図書館の利用

絵本の救急箱充実

○参観日(父母)・個人懇談（年２回）を実施

○げんき工房の指導計画を再確認

○園庭に移動式の鉄棒を設置

○行事後に保護者にアンケートを実施して回答を配布

○おおぞら通信（令和４年度の教育・保育計画の発行紙）

教育・保育内容を図式化した内容と説明文を添付

地域交流事業・子育て支援事業

○子育て支援事業

・ホームページで読み聞かせの動画を発信した。

○シニア世代交流

○貝塚いぶき作業所との交流

・陶芸活動参加（５歳児クラス）

○地域会議に参加、団体との連携協力の促進

（商店会の七夕祭りに５歳児クラスが七夕祭りの短冊で参加）

・校区福祉委員会参加・常任委員会・地域教育協議会学校支援地域本部）に参加した。

すこやかネットワーク協議会より、すこやかネット機関紙を年３回当園の教育・保育の様子を記載する。≪２０００部配布≫

・二色パークタウン地域紙（パコネット機関紙）を年３回当園の教育・保育の様子を連載する。≪２０００部配布≫

○自然遊学館との交流（５歳児クラス）

○貝塚市立二色小学校と連携・接続（架け橋プログラム）の充実を図った。

・５歳児クラスが園だより・給食だよりを月１回持参して、校長・教頭と懇談を行う。

- ・教育・保育要領に基づく全体的な計画とおおぞら通信等を持参し連携を行った。
(定期的に校長・教頭との懇談会を行った)
- 2月に6年生を対象に職業講和を行った。
- 防犯・防災訓練(高潮訓練)を実施した。
- 近隣に園だより・給食だよりを毎月配布した。

職務担当

- 行事担当・月当番等担当保育教諭を定め、園長は総括指揮に努めた。
- 運営事務全般等は事務長が指揮に努めた。
- 管理栄養士のもと給食の充実に努めた。
- 学校医・薬剤師・歯科医・英語指導員・体育指導員は外部委託契約。

教育・保育設備

- 送迎時タッチパネルで、今後も能率のよい運営を図った。
- 0歳児午睡中の事故発生防止対策ベビーセンス(シエスタBEBE)を4台購入。
- 2歳児クラス・4歳児クラスパーティションを購入。
- ツリーチャイム購入
- 4歳児クラスにソファ購入
- おもちゃ殺菌保管庫1台購入
- 水消火器購入
- 園庭の乳児用のテーブルと椅子購入
- 乳児用トイレ側のテラスに温水の水栓を設置した。
- 園庭のアコーディオンの門にパネルを取り付けた。
- 緑化推進に努めた。(ピクニックテラスの充実)
- 給食備品と設備の充実に努めた。
- メンテナンス業者に委託し安全管理を図った。
- 避難頭巾・放送器具を購入して、避難時に備えた。
- 5歳児クラスにパソコン1台を備え付けてコンピューターに対する興味や探求心等を養った。
- 携帯電話をスマホに移行して、有効に活用した。
- 資金計画
委託費収入と補助金収入で円滑に進めた。
(施設機能強化事業補助金・子育て支援保育士事業補助金)

*その他

- 研修の充実
保育のデザイン研究所のオンライン研修に職員2名参加
キャリアアップ
スマイルサポーター(主幹保育教諭参加)

＊オンライン研修を中心とする

○園規定等の見直し

○職員福利厚生の充実

○職員体制の改善

平成4年度育児短時間勤務利用1名

○職員の休憩時間確保

○非常災害備品の備えと点検（第五中学校避難所の非常災害備品も同じく確認した。）

○衛生管理の充実を図った。

○高潮訓練と防犯訓練を実施した。（高潮訓練は貝塚市危機管理課に書類を提出した）

○川崎会看護専門学校へ職員3名が講和を行った。（衛生管理と危機管理について）

○ソニー幼児教育支援プログラム「科学する心を育てる」豊かな感性と創造性の芽生えを育む（保育実践論文）に令和元年度の5歳児クラスの実践記録を提出した。

（審査結果はチャレンジ賞）

○職員・園児名簿等は別紙参照

令和4年度新型コロナウイルス感染防止のため中止した事業

・こども園体験事業

スマイルキッズ・グルメランチ・子どもロビーコンサート

・子育て支援事業

子育て相談の窓口設置（浜手地区公民館）・人形劇公演（浜手地区公民館）・夕涼み会（地域盆踊りと連携）・子育てセミナー等

・シニア世代交流

うぐいすクラブ・老人施設訪問・浜手地区公民館茶道クラブとの交流

・貝塚市立二色小学校入学式・卒業式

貝塚市立第五中学校の入学式

・二色小学校のおもちゃ広場（2年生）・社会見学（4年生）

・第五中学校3年生との交流（ふれあい遊び）

・地域貢献事業（しあわせネットワーク）の生活困窮レスキュー事業

・わきはまこども園との交流（5歳児クラス）

《雪遊び・田舎体験・コンサート鑑賞等》

・試食会

・外部コンサート

・ギルフォード社来園・郵便局局長の講和

・保育室等の壁クロスの張替え

・2歳児クラスの床をフローリング替え

・午睡用の布団の収納棚

・給食室での献立レシピ動画を発信

